

2015年10月28日

ソニー株式会社

株式会社東芝

ソニー及び東芝による半導体製造設備等の一部譲渡に関する意向確認書の締結について

本日、ソニー株式会社（以下、ソニー）及び株式会社東芝（以下、東芝）は、東芝所有の大分県の半導体製造関連施設、設備及びその他関連資産の一部をソニーに譲渡する旨の意向確認書を締結し、譲渡に関する協議を進めていくことに基本合意しました。

今回、譲渡の対象としているのは、主に東芝の大分工場の 300mm ウェーハ生産ラインの製造関連施設、設備及びその他関連資産です。ソニーが譲渡を受ける予定の大分工場の半導体製造関連施設は、譲渡完了後、ソニーの完全子会社であるソニーセミコンダクタ株式会社（以下、SCK）の製造拠点の一つとして、主に CMOS イメージセンサーの製造に使用する予定です。また、ソニーへの譲渡完了前に東芝が大分工場の 300mm ウェーハ生産ラインで生産していた半導体製品については、譲渡完了後、東芝からの委託を受けて SCK が受託生産することで協議をしています。

なお、譲渡対象となっている施設及び設備での製造、並びに CMOS イメージセンサーの設計などに関わっている東芝及びその関係会社の社員（約 1,100 名）については、ソニーへの譲渡完了に伴い、ソニーグループにて雇用を受け入れることで調整を行っていく予定です。

ソニーとしては、今回の東芝の大分工場の生産ラインの取得により、今後も一層の市場拡大が期待できる CMOS イメージセンサーの生産能力を増強することが可能となります。

東芝は、システム LSI 事業において、CMOS イメージセンサー事業から撤退し、技術優位性の高い製品にリソースを投入することにより、同事業の収益力改善を図ります。

今後、ソニーと東芝は譲渡対象の半導体製造関連施設、設備及び関連資産の譲渡に関して、それらの精査の手続きなどを経て、2015 年内に法的拘束力を有する確定契約を締結し、その後、関係当局の必要な承認及び認可を条件として 2015 年度中の譲渡完了を目指します。

東芝・大分工場 300mm ウェーハ製造関連施設・設備の概要

竣工 : 2004年2月

所在地 : 大分県大分市大字松岡 3500 番地

建屋面積 : 24,100 m²

延床面積 : 48,800 m²

主要製品 : CMOS イメージセンサー、メモリコントローラ等

以 上